

旧庁舎跡地の利活用に係るサウンディング型市場調査の実施結果について

旧市役所本庁舎跡地（現公用車駐車場）について、民間事業者と対話形式で利活用に向けたサウンディング型市場調査を実施しましたので、その概要を報告します。

1. 調査内容

サウンディング型市場調査とは、対象施設の活用方法や事業手法について、民間事業者から広く意見や提案を受け、直接の対話により市場性を調査するものです。

今回実施する調査では、当該地の活用が中心市街地活性化、賑わいの創出、及び周辺環境との調和等につながる意見・提案を募集しました。

2. 対話の実施状況・提案概要

(1) 実施状況

提 案 者	実 施 日	会 場
事業者 A	8 月 7 日 (月)	市役所 301 会議室
事業者 B	8 月 10 日 (木)	市役所 市民応接室
事業者 C	8 月 10 日 (木)	市役所 市民応接室

(2) 提案概要

提案者	提案概要
事業者 A	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地とお祭り広場及びだんだん広場を、緑地化を核とした交流ゾーンとして整備する。 ・公用車や利用者が駐車できる立体駐車場を当該地に建設する。 ・子育て世代が滞留できる施設の建設（例：木製おもちゃ販売店やカフェ）や憩いの場として噴水の設置も考えられる。 ・立体駐車場の整備は、市が直接行う方法や民間が建設し、リースする方法などが考えられる。 ・土地は、将来の状況の変化に備え、市の所有のままが望ましい。

提案者	提案概要
事業者B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国で展開する小売大手の店舗の敷地とする。 ・ 単に小売業を行うだけでなく、店舗の床面積によっては、地域との交流スペースを店舗内に設けたり、様々なサービスコンテンツを複合的に展開したりする。 ・ 地域振興としては、出店により新たな賑わいの場として市外からの集客が見込める。また、地元産農産物を活用した商品開発を行うことができるのではないか。 ・ 公用車駐車場の移転には、アプリを活用した台数の削減、災害時等の社用車の提供及び2階建ての立体駐車場の建設、その他の手法で協力できる。 ・ 土地は購入を希望する。
事業者C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所と近接しており公共性のある利用が望ましい。 ・ 出雲中央図書館を移設して、図書館を軸とした複合施設を建設する。 ・ 複合施設には、他にレストラン、カフェ、学習・コワーキングスペース、デジタルリソースにアクセスできる施設、イベントスペース、ホテル等が考えられる。 ・ イベントスペースでは、著名人による講演や演奏会、地元文化団体の発表の場としての活用ができる。 ・ 土地は購入を希望する。

3. 経過及び今後のスケジュール

令和5年	6月26日	サウンディング型市場調査の参加事業者公募開始 事業者現地説明会（希望者なし）
	～7月31日	事業者からの提案受付
	～8月10日	サウンディング（対話）
	8月28日	公共財産活用特別委員会で調査結果を報告
	8月30日	初日全員協議会で調査結果を報告
令和5年度		サウンディング内容の精査及び公募に向けた調査・検討